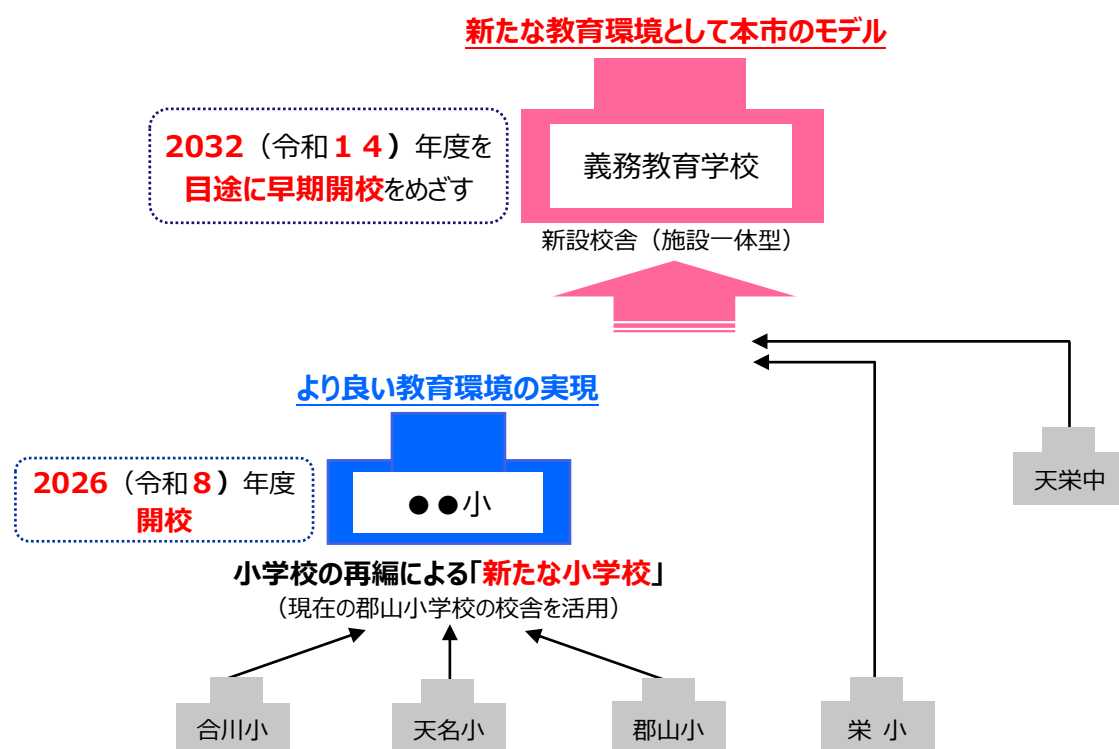


天栄中学校区における学校再編計画 (概要)



「義務教育学校」 の設置について

本市のモデル校ともなる新たな教育環境を創造するため、義務教育の 9 年間の教育課程を見据えた「義務教育学校」の設置に向けた考え方を示します。

「新たな小学校」 の開校について

「義務教育学校」の設置までの期間に、合川小学校で 2024 (令和 6) 年度、天名小学校で 2026 (令和 8) 年度に発生する見込みである複式学級に対して、より良い教育環境を提供する必要があることから、今後の小学校のあり方を示します。

2023 (令和 5) 年 12 月

鈴鹿市教育委員会

◆鈴鹿市学校規模適正化・適正配置に関する基本方針

○少子化の進展が中長期的に継続することが見込まれ、学校の小規模化に伴う、教育上の諸課題が顕在化することが懸念される中、子どもたちが楽しく安心して学べる環境を整備していくため、本市では、2018（平成30）年3月に「**鈴鹿市学校規模適正化・適正配置に関する基本方針**」を策定し、**本市における適正な学校規模のあり方など、基本となる考え方やその実現に向けた方策等を整理しました。**

〔本市における適正規模・適正配置の考え方〕

	適正規模	適正配置	
		通学距離	通学時間
小学校	12～24 学級（1 学年 2～4 学級）	おおむね 4 k m 以内	おおむね 1 時間以内
中学校	9～24 学級（1 学年 3～8 学級）	おおむね 6 k m 以内	

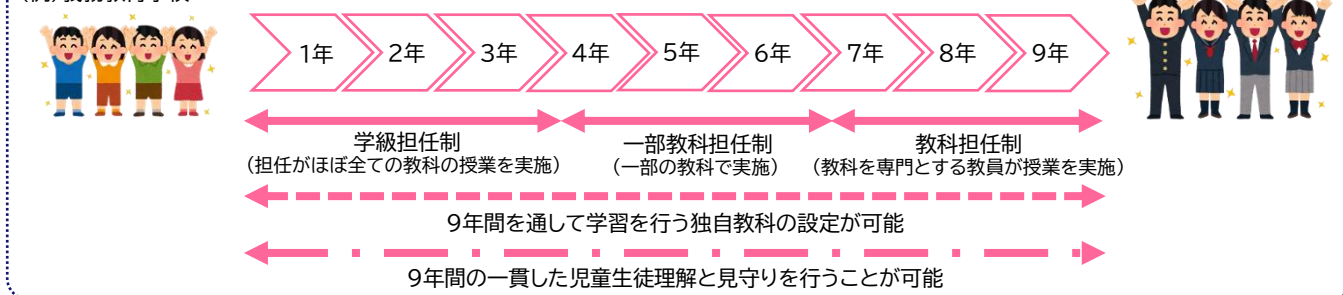
〔小中学校における規模の基準〕

	過小規模校	小規模校		適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	5 学級以下	6 学級	7～11 学級	12～24 学級	25～30 学級	31 学級以上
中学校	5 学級以下	6～8 学級		9～24 学級	25～30 学級	31 学級以上

◆「義務教育学校」開校に向けた考え方

- これまで小学校・中学校の各中学校区における連携を重点取組とし、教育活動を推進してきた。
- 今後、小学校 6 年間、中学校 3 年間の枠組みにとらわれない、**9 年間の一貫した系統的な教育課程、指導体制を構築する。**
- 「小中一貫教育」を実施する上で、「**義務教育学校**」は、柔軟な学年段階の区切りの設定が可能であり、**発達段階に応じた教育課程を編成できるため、より効果的な教育活動を実現することができる。**
- 市内どこからでも通学を可能とする「特認校」を想定して検討する。

（例）義務教育学校



◆「義務教育学校」開校に向けての課題

- 小中一貫教育の実施に当たっての**基本的な考え方**を整理する。
- 栄小学校の児童が、「義務教育学校」での新たな人間関係の構築を円滑に行い、安心して学校生活を送ることができるよう、**天栄中学校区内での校区連携**をこれまで以上に深めるなど、**継続的な取組を実施する。**
- 現在、通学区域の弾力化※の取組の一環で、稲生小学校区の児童生徒を対象に天栄中学校への就学を認めたり、各学年の生徒数の3割から4割程度を占めている。義務教育学校の特認校制度の制度設計を検討する際に、**これまでの通学区域の弾力化の取組内容を踏まえた運用とする。**

※特定の地域に在住する児童生徒について、一定条件の下、指定校以外の隣接する学校への就学を認める制度。本市では、過大規模校又はそれに準じる大規模校対策として、2016(平成28)年度から、旭が丘小学校及び白子中学校で実施している。

◆より良い教育環境の実現に向けて

(2023(令和5)年度「20年推計」を基に整理)

		2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度	2028 (R10) 年度	2029 (R11) 年度	2033 (R15) 年度	2035 (R17) 年度	2038 (R20) 年度	2043 (R25) 年度
合川小学校	普通学級児童数	69	68	60	56	52	50	54	60	54	53	49
	学級数	6	5	5	5	4	5	5	6	6	5	5
天名小学校	普通学級児童数	74	68	63	66	61	53	48	51	47	40	38
	学級数	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4
栄小学校	普通学級児童数	150	143	133	122	111	113	103	124	124	109	91
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
郡山小学校	普通学級児童数	176	167	164	172	162	155	142	147	149	129	109
	学級数	6	6	6	7	7	7	7	6	6	6	6

○合川小学校では2024（令和6）年度に、天名小学校では2026（令和8）年度に複式学級が発生するとともに、その状況は今後も継続すると見込まれている。

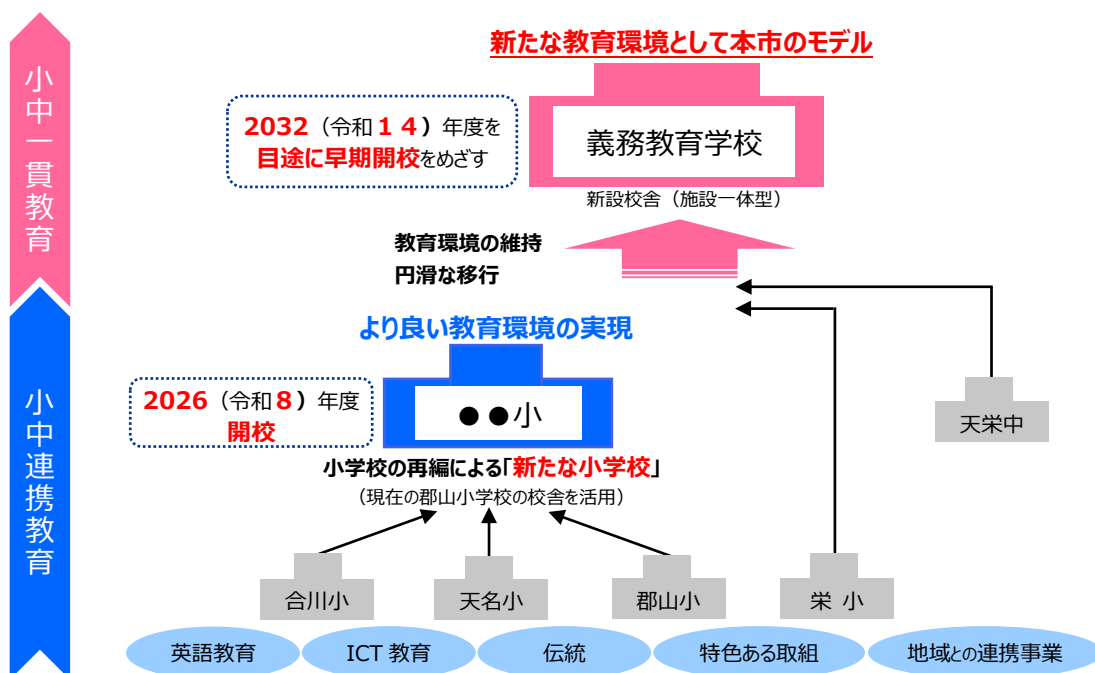
○学校の小規模化に伴う学校運営上の課題や児童に与える影響を解消することで、児童一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことができるより良い教育環境を提供する視点を主眼に置いて、学校の再編を行う。

◆「新たな小学校」開校に向けて

○合川小学校及び天名小学校の2校に郡山小学校を加えた3校で学校再編を行い、2026（令和8）年4月に「新たな小学校」を開校する。

○これまで3校で培われてきた取組を継承し、先進的な教育を実践する学校をめざす。

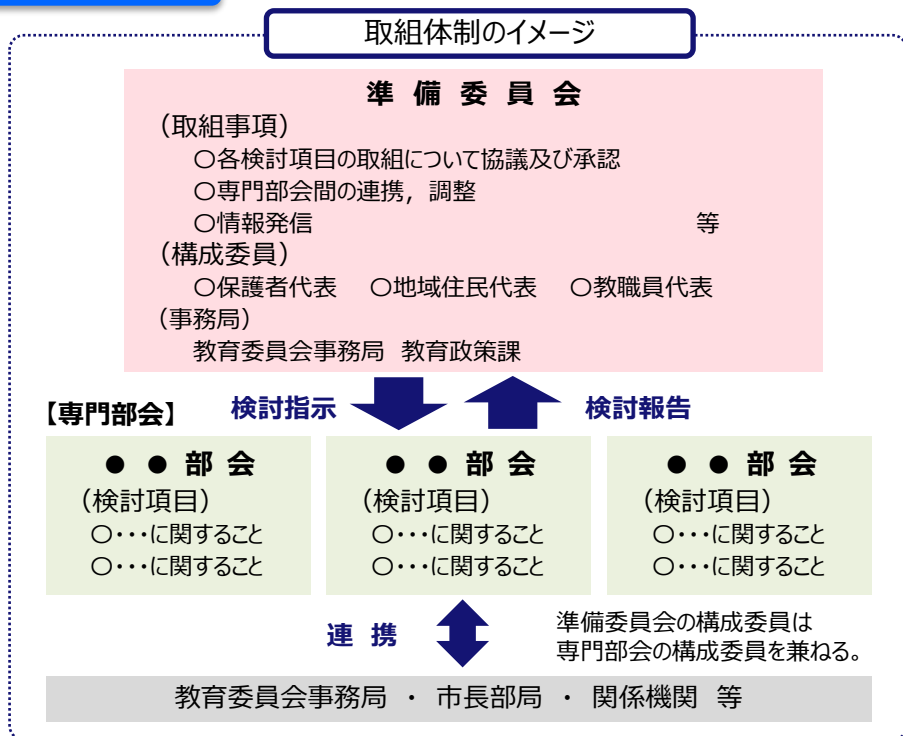
○「新たな小学校」で構築された教育環境や得られた知見を生かして、円滑な「義務教育学校」への移行につなげていく。



◆「新たな小学校」開校に向けた今後の取組

○「新たな小学校」の開校に向けて、
2024（令和6）年4月を目途に、
保護者や地域住民、学校再編に関
わる学校関係者、教育委員会事務
局の関係部署で構成される**準備委員
会**を立ち上げる。

○準備委員会では、検討項目に応じて
検討に関わる主体を整理の上、適切
かつ迅速に進めていくため、**専門部会**
を設置する。



◆主な検討項目

育む力に関する事	・・・非認知能力の育成につながる教育など
先進的な教育に関する事	・・・先進的な教育、教育 DX（デジタル・トランスフォーメーション）、グローバル教育など
児童の交流や地域連携活動に関する事	・・・合同行事や教育 DX による学校間の連携事業、地域連携活動など
今後の通学路の安全確保に関する事	・・・危険箇所の点検、安全上の検証など
スクールバスの運行に関する事	・・・対象エリア、運行ルート、停留所など
校名・校章・校歌等に関する事	・・・3校の歴史や伝統、地域性、思いを踏まえた校名・校歌・校章など
児童が使用する学用品等に関する事	・・・制服や体操着、その他学用品など
PTA 組織体制や活動内容等に関する事	・・・PTAの組織体制や考え方、活動内容など
記念行事に関する事	・・・閉校式、開校式など
施設整備に関する事	・・・安全に公平で最適な教育を受けることができる施設整備など
跡施設に関する事	・・・小学校の校舎、運動場、屋内運動場の活用など

◆学校再編に関する情報について

- 鈴鹿市教育委員会のホームページに学校再編に係る内容を掲載しております。
- 教育委員会のホームページには、右の二次元コードを読み込み、アクセスできます。



<学校再編について、ご質問・ご意見などありましたら、お聞かせください。>
鈴鹿市教育委員会事務局 教育政策課
TEL : 059-382-9112
FAX : 059-383-7878
MAIL : kyoikuseisaku@city.suzuka.lg.jp

